



平成25年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【星が丘地区】

平成26年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 音楽サポーターこんべいとう	音楽で広める介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内居住者の高齢化が進んでいる。 ・高齢者の孤独化や孤立死・孤独死が問題となっている。 ・地域活動の担い手が減少している。 ・地域に向けて何か自分で出来ることをしたいと思っっている方のニーズがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を使った介護予防等の講座を実施し、さらなる知識や技術の習得を目指すとともに会員の拡充を図り、さらに充実した活動を出来るようにする。 ・事業の参加者や実践の相手方(デイサービスセンター利用者等)に音楽を使った介護予防の知識等について広く知らせることにより、健康で快適な生活を送れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を使った介護予防サポーターの養成講座の実施 ・介護予防に関する基礎的な知識の講習会の実施 ・自主的な学習の継続、実践に向けての練習 ・デイサービスセンター等での実践 	7月11日	200,000	200,000	200,000
2 「星が丘を故郷(ふるさと)に」実行委員会	高齢者いきがいづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の居場所がない。(騙されないと考えているが、自宅以外に行く場所がなく移動販売商法に通い、結果として消費者被害にあう事例が発生している。外出したいが、外出先がないという声が聞かれている。) ・大きなことは出来ないが、人の役に立つことをしたいと思っっている方々のニーズがある。どこに行けば誰かの役に立つことが出来るかという等の声が地域にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体的にも気持ち的にも一歩踏み出せない人の居場所づくりを行う。 ・星が丘地区の高齢者等が気軽に立ち寄り、安心して他者と交流できる居場所を作ることにより、高齢者の閉じこもりを予防する。また、その居場所に星が丘の歴史等について調べたものを掲示するなどし、世代を超えて星が丘地区を深く知る機会を設定し、自分が住んでいる星が丘への愛着を持ってもらえるようにする。 ・地域に個々の力を還元するための地域の小さなお手伝いの場を設定を行う。 ・ボランティアに必要な知識の講座等を開催し、ボランティアの発掘、養成し、自主的に活動出来る人、グループを育成していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・星が丘デイサービスセンターの共有スペースに高齢者をはじめとした、地域の方が気軽に立ち寄れるスペースを開設し、運営を行う。(喫茶、ギャラリー、ミュージアムの設置) ・喫茶の運営をとおして、ボランティアを生み出していく。 ・ボランティア養成講座を開催し、ボランティアに必要な知識を習得させる、また、受講者に実際のボランティアとして、上記スペースの運営等の協力をしてもらう。 ・私でも出来るボランティアの募集(難しいことなく、その人の特技、ちょっとしたことなどをエントリーしてもらい、ボランティアの人材リストを作成する。) ・ボランティアをしてもらいたい内容・人を募り、人材リストと照らし合わせ、マッチングをしていく。 	7月11日	240,000	240,000	240,000
3 横山南部3・5丁目まちづくり協議会	安全・安心な生活環境を目指す地域コミュニティ作り事業	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地開発がされておよそ半世紀が経ち、少子高齢化が進んでいる。 ・家や土地を手放す人が増え、居住者が入れ替わり、安全・安心な生活環境の維持が難しくなっっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代居住地域を目指し、当該地域で生まれ育った子どもたちを地域に呼び戻し、地域を活性化させ、安心・安全なまちづくりを目指す ・自治会未加入世帯の自治会加入促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会・交流会の開催 「子育て最適・多世代居住地域づくり」をテーマとした、講演会を実施するとともに現役員と講演会参加者の若い世代との交流を図る。 ・夏まつりへの招待 結婚等で当該地域を離れた子どもたちにふるさとまつりへの招待状を出し、まつりに来てもらい、子どもや孫にこの地域の素晴らしさを実感してもらい、当該地域に戻ってきてもらうきっかけとする。さらに「どのようなまちが住みやすいか」、「居住地域を決めるポイント」等のアンケートを実施し、まとめる。 また、当該地域の自治会未加入世帯にも参加を呼びかけ、まつり会場にコミュニティブースを設置し、コミュニケーションを深め、自治会加入促進を図る。 	7月12日	140,000	135,000	135,000

	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4	星が丘地区ふれあいフェスティバル実行委員会	星が丘地区ふれあいフェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動している団体のメンバー不足、高齢化 ・地域におけるコミュニティの場の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> ・星が丘地区の住民が一堂に会する場を設け、地域で活動する団体の活動を周知し、それぞれの団体の活動を知ってもらうきっかけをつくる。 ・事業を通じているいるな団体・個人が交流を深めることにより、地域の活性化に寄与する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成25年10月27日(日) 午前10時から午後3時 ・会場 星が丘小学校 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体による事業紹介 ・各種団体の加入促進 ・各種団体による模擬店 ・子どもや家族向けのステージイベント、アトラクション等の実施 	9月26日	1,080,000	1,050,000	1,050,000
5	キャッチフレーズ選定委員会	メイキング星が丘事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が住んでいる土地への愛着があまりなくなってきている。 ・まちづくりと言われてもピンとこない人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所や区役所、星が丘地区まちづくり会議が進めている“まちづくり”を地域住民に分かりやすいかたちで認識してもらえようとする。 ・自分が住んでいる星が丘というまちに愛着をもってもらえようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・星が丘地域が目指しているまちづくりを簡潔に述べたキャッチフレーズを選定し、地域住民にまちづくりを身近に感じてもらえるようにする。 ・星が丘の良いところ見つけや良いエピソードの募集 ・良いところ見つけや良いエピソードの応募者の表彰(星が丘地区ふれあいフェスティバルにて) ・星が丘のまちづくりの方向性を示すキャッチフレーズを選定 ・選定したキャッチフレーズを地域内に掲示し、周知を行う 	9月26日	250,000	250,000	250,000
6	グリーントウン横6フェスティバル実行委員会	グリーントウン横6フェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入率の低下。 ・となり近所との関係の希薄化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ地域に住む住民が一堂に会する場を設け、地域内でのふれあいのきっかけにする。 ・自治会未加入の方にも声をかけて参加してもらい、自治会活動について理解してもらい、新たな自治会員の獲得を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内在住者の趣味の品(書道、絵画等)の展示の実施 ・地域内在住者のステージ(大正琴、日本舞踊、カラオケ等)の実施 ・ふれあいイベント(バーベキュー、餅つき等)の実施 	10月2日	300,000	120,000	120,000

	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
7	星が丘交通マナー向上委員会	交通マナー向上事業	<ul style="list-style-type: none"> 交通(特に自転車)マナーが悪い。 中央区内の交通事故が大変多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通マナーの向上を図る。 交通問題の意識付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> スケアードストレイト(スタントマンによる自転車事故等の再現)の実施 実際の自転車等の事故の再現を目の当たりにすることにより、自転車事故の怖さの認識と自転車マナーの向上を図る。 	2月6日	273,000	273,000	273,000
8	シルバー110番普及実行委員会	高齢者にやさしいまちづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> となり近所との関係の希薄化 高齢者世帯の増加(核家族化) 家族の役割の変化 互助の概念の変化 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の相談受付窓口になる家を選定し、高齢者の悩みごとの解決の一助とし、高齢者にやさしいまちづくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会役員や民生委員、それらの経験者の家にシルバー110番の家のプレート掲げ、高齢者の相談受付窓口になってもらい、民生委員や地域包括支援センターにつなぎ、高齢者の悩みの解決を図る。 名称の募集 表示プレートのマーク・デザインの募集 名称、マーク・デザイン応募者の表彰(星が丘地区ふれあいフェスティバルにて表彰予定) 地区内にシルバー110番(仮称)の家の看板プレートの掲示(自治会役員、民生委員、自治会長・民生員経験者、地域内店舗等) 	2月18日	732,000	732,000	732,000
							3,215,000	3,000,000	3,000,000